

改選後初の一般質問



11議員が市政を問う

質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

録画配信でチェック!

市議会ホームページから、録画をご覧いただけます。

京田辺市議会 インターネット中継 で検索



市の農業支援の方策は




小林 喜代司 議員
(みらい京田辺)



本市の特産(田辺なす)

市長選結果の認識は



南部 登志子 議員
(無党派)



戸数条件によりエレベーターが設置できない棟(田辺団地)

先日の市長選挙は、投票率が低かった上に僅差での勝利であった。それら原因を分析し、他候補者へ寄せられた期待を汲み取ることが必要と考えるが、市長の認識を問う。

市長 今回の結果は、これまでのまちづくりの評価と、新たな4年間に期待をいただいたものと受け止めている。さらに現地現場主義に徹し、全力で市政運営に取り組む。

建設部長 個別の土地所有状況は承知していないが、近

鉄新田辺駅東側の駅前広場については、中心市街地の都市基盤整備の方策について検討を進めているところである。

学校教育で「まるごと京田辺の日」を設定し、地元野菜や米を食べる機会を増やすよう努力を。

教育部長 食材の全てを京田辺市産で賄うことは困難。


5階建て府営住宅の全棟にエレベーターの設置を。

建設部長 現在、次期計画となる「第三次京都府営住宅ストック総合活用計画」を策定中と聞いている。

井手町に新支援学校ができることになり、立地場所も決定したが、交通アクセスに課題がある。市の認識は。

教育部長 府教育委員会とも十分に協議をしていきたい。

学生消防団の導入を



河田 美穂 議員
(公明党)



訓練の成果を競う「市消防団消防操法大会」

消防団の新たな担い手づくりのために「学生消防団活動認証制度」を導入すべき。

消防団 消防団員の確保の一端として、また、就職支援としての要素が高いことから前向きに考えていきたい。

「防災士」の活動の場を増やし、さらに、市職員の「防災士」も拡充していくべき。

危機管理課 自主防災組織に資格取得を希望するところも、出前講座など、あらゆる機会を通じて受講者を募りさらなるPRに努める。市職員は、安心まちづくり室の職員だけでなく、避難所配備職員等についても、「防災士」の資格を取得するよう努めていく。

保健福祉部長 将来的に入所動向に若干の余裕が生まれるようであれば、やりたい。

野良猫の繁殖防止のための、不妊手術に助成をすべき。

経済環境部長 避妊・去勢については、飼主の責任という観点から、しっかり広報していく。

議会日誌

29	28	24	22	17	15	9	7	2	30	20	19	18	17	16	15	12	11	8	1	28	22	20	15	8	7		
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
<p>5月</p> <p>会派代表者会議 幹事会(12日、15日) 第1回臨時会(役員選出・議案上程採決) 議会議員研修会(25日、29日) 新会議員研修会 山城地区議長連絡協議会定例会 京都府市議会議長会</p> <p>6月</p> <p>第2回定例会(施政方針・議案上程) 第2回定例会(代表質問) 議会運営委員会(24日、26日) 第2回定例会(一般質問) 第2回定例会(一般質問) 第2回定例会(一般質問) 全国市議会議長会 文教福祉常任委員会・協議会 建設経済常任委員会・協議会 総務常任委員会 第2回定例会(議案採決) 広報編集特別委員会</p> <p>7月</p> <p>埼玉県狭山市議会視察来庁 建設経済常任委員会協議会 幹事会(17日) 広報編集特別委員会(14日、23日、31日) 総務常任委員会・協議会 文教福祉常任委員会・協議会 総務常任委員会協議会 建設経済常任委員会・協議会 京都府市議会議長会 広報編集特別委員会管外研修(30日) (以上主なもの)</p>																											

農業の厳しい現状に対応するため、国や府では強い農業づくりを進めるため各種の方策を打ち出している。JA京都やましろでも各種の新規事業を進められているが、本市の支援策は、また普賢寺地域の活性化の一つとして平成28年に開催される国際的な自転車レース「ツアー・オブ・ジャパン」について、地元区への説明と事業計画は。

副市長 農業の振興については各地域の農家の方々の取り組みを聞きながら、それに対してきめ細かな支援をおこなっている。今後とも、JAとしてしっかり連携を行いながら支援活動に努めたい。

経済環境部長 JA京都やましろ京田辺支店の各部会と連携して各種の事業を進めて

いる。また、本市単独の支援策は「農業振興事業補助金」としてまとめた中で、各種補助や支援を行っている。

企画政策部長 28年から毎年5月に本市と精華町にまたがるコースで「ツアー・オブ・ジャパン」が開催される。スタート地点として普賢寺のふれあいの駅を予定している。今後は開催の計画的な展開を見据え、府や地元区などの関係機関と協力を図り、普賢寺地域の活性化に努めたい。

学校給食の地産地消の拡大と利用促進の取り組みは

教育部長 できる限り市内産の野菜を活用するように心がけている。今後農政部局等と調整を取りながら、地元産食材を活用できるように努力をしていきたい。